

眼科

大島安正

大阪の中心に位置していることから、近畿圏における主要な基幹病院として病診連携・病病連携の重要性を認識し、紹介元と緊密に連絡を取るようしており、特に緑内障・網膜硝子体疾患においては多くの難治性疾患を受け入れ、最終病院として機能しています。各医員は白内障以外に専門分野を標榜しており、情報収集も怠らず、最新で質の高い医療を提供することを心がけています。また、厚生労働省の政策医療感覚器ネットワーク機関としても全国の多施設共同研究に参加しています。

平成 25 年 4 月から 26 年 3 月の眼科における総手術件数は総計 1,491 件でした。

白内障：白内障手術件数は最も多く、平成 25 年度の白内障関連手術件数は 949 件（1 泊入院 188 件）でした。入院は片眼 4 日間、両眼約 9 日間の通常入院のほか、1 泊 2 日入院も選択可能です。白内障手術の待ち期間は平均 1 か月程度です。**緑内障：**原発開放隅角緑内障は薬物療法が第一選択ですが、薬物療法で眼圧下降が十分でない場合には外科的治療（線維柱帯切除術が主流、発達緑内障やステロイド緑内障には線維柱帯切開術を選択、平成 25 年度の緑内障手術件数は 207 件）を行っています。ステンレス製ミニシャントであるエクस्प्रेसも導入しています。また、難治な血管新生緑内障に対しても積極的にアバスチン併用線維柱帯切除術を行っています。隅角検査のみならず超音波生体顕微鏡、前眼部光干渉断層計などを用いることで、閉塞隅角緑内障の診断・治療を厳密に行っています。**網膜・硝子体手術：**増殖糖尿病網膜症、増殖硝子体網膜症、網膜剥離、黄斑部手術などを中心に積極的に行っています。平成 25 年度には硝子体手術 282 件、強膜内陥術 5 件が行われ、網膜剥離症例では症例に応じて初診当日入院・当日手術も行っています。硝子体手術は 25 ゲージシステムによる低侵襲硝子体手術を実施し良好な成績を得ています。手術加療だけでなく、加齢黄斑変性、網膜静脈分枝閉塞症などに対する抗 Vascular Endothelial Growth Factor (VEGF) 抗体の硝子体内注射も積極的に行っています。**その他（眼形成・翼状片など）：**眼瞼下垂手術、眼瞼内反症手術、翼状片手術など 48 件の手術が行われました。眼部悪性腫瘍は当院の形成外科と連携しております。**HIV/AIDS：**当院は HIV/AIDS 先端医療開発センターであるため、免疫・感染症内科との連携によりサイトメガロウイルス網膜炎などの AIDS 眼合併症の治療を多数行っています。**角膜：**角膜疾患としては、ドライアイの症例が多く集まり、症状に応じて涙点プラグ挿入、涙点閉鎖を行います。重症例には薬剤部の協力を得て、自己血清点眼薬を自家調整し処方することで良好な成績を得ています。また、他の医療機関で難治性となった薬剤耐性菌感染症やアカントアメーバー角膜炎等の角膜感染症の治療に関しても薬剤部の協力を得て、自家調整点眼薬を処方することで良好な成績を得ています。

【2013 年度研究発表業績】

A-0

Usui S, Ikuno Y, Uematsu S, Morimoto Y, Yasuno Y, Otori Y. Changes in axial length and choroidal thickness after intraocular pressure reduction resulting from trabeculectomy. Clin Ophthalmol. 2013;7:1155-61. (2013 年 6 月)

Hiratsuka Y, Yamada M, Akune Y, Murakami A, Okada AA, Yamashita H, Ohashi Y, Yamagishi N, Tamura H, Fukuhara S, Takura T. Cost-utility analysis of cataract surgery in Japan: a probabilistic Markov modeling study. Eye Care Comparative Effectiveness Research Team (ECCERT), Jpn J Ophthalmol. 2013;57(4):391-401.(2013 年 7 月)

A-1

三浦聡子、瓶井資弘：若年者の鋸状縁断裂(young dialysis)、専門医のための眼科診療クオリファイ、裂孔原性網膜剥離-How to treat、瓶井資弘 編集、p.244-249、中山書店、2013 年 6 月

多田明日美、大黒伸行：図で早わかり 実戦眼科薬理：テノン嚢下注射のコツ、「臨床眼科」増刊号 67 巻 p23-27、医学書院 2013 年 11 月

A-3

三浦聡子、臼井審一、多田明日美、建林美佐子、敷尾久美子、大鳥安正：強膜弁直上に漏出点がある場合の新しい濾過胞再建術を施行した 2 症例、眼科臨床紀要 7(3)174-178、2014 年 3 月

大鳥安正：My Practice. Frontiers in Glaucoma 47:86-89、2014 年 3 月

B-2

Kitamura S, Sakaguchi H, Nishida K. Multiple Recurrences of Bilateral Macular Holes. The 8th APVRS Congress Asia Pacific Vitreo-retina Society 名古屋、2013 年 12 月

B-3

大鳥安正：大阪医療センターの指導体制、第 7 回眼科指導医講習会、東京、2013 年 4 月

大鳥安正：超高齢者の濾過手術、第 24 回日本緑内障学会イブニングセミナー、東京、2013 年 9 月

大鳥安正：ドクターGlaucomatologists、第 67 回日本臨床眼科学会ランチョンセミナー、横浜、2013 年 11 月

B-4

浏端 睦、前田直之、植木亮太郎、浅井智子、高 静花、不二門 尚、西田幸二、角膜生体力学解析装置を用いた正常と円錐角膜の角膜力学的特性の比較、第 117 回日本眼科学会総会、東京、2013 年 4 月

多田明日美、中井 慶、岩橋 千春、橋田 徳康、沢 美貴、西田 幸二：癌関連網膜症(CAR)を発症した 1 症例、第 47 回日本眼炎症学会、大阪、2013 年 7 月

北村成司、沢 美喜、上野千佳子、五味 文、西田幸二、網膜色素線条に対する抗 VEGF 治療後 5 年間の成績 第 30 回日本眼循環学会、東京 2013 年 7 月

浏端 睦：角膜生体力学特性解析装置 Corvis ST を用いた検討、Refractive Surgery Update Seminar in Kyoto、2013 年 7 月

多田明日美、三浦聡子、北村成司、浏端 睦、山本拓広、中川智哉、津村朋子、建林美佐子、數尾久美子、大鳥安正：線維柱帯切除術後の早期低眼圧に対する経結膜的強膜弁縫合の効果、第 24 回日本緑内障学会、東京、2013 年 9 月

三浦聡子、北村成司、多田明日美、浏端 睦、山本拓広、中川智哉、津村朋子、建林美佐子、數尾久美子、大鳥安正：血管新生緑内障に対する bevacizumab 硝子体内注射併用線維柱帯切除術の術後成績、第 24 回日本緑内障学会、東京、2013 年 9 月

多田明日美、北村成司、三浦聡子、浏端 睦、山本拓広、中川智哉、津村朋子、數尾久美子、建林美佐子、大鳥安正：抗パーキンソン病薬の内服により発症したと推測される両眼性続発閉塞隅角緑内障の 1 症例、第 67 回日本臨床眼科学会、京都、2013 年 10 月

B-5

大鳥安正：アドヒアランスを向上させるための緑内障診療の工夫、第 77 回香川大学眼科研究会、香川、2013 年 5 月

大鳥安正：緑内障で失明しないために、第 52 回 RTS 勉強会、大阪、2013 年 6 月

大鳥安正：緑内障診療の工夫：診断から薬物治療まで、豊中市眼科医会学術研究会、大阪、2013 年 6 月

大鳥安正：緑内障診断に必要な検査結果の読み方のコツ、関東 Glaucoma Meet The Specialist、東京、2013年6月

大鳥安正：緑内障専門医への紹介のタイミング、第1回平城(なら)緑内障フォーラム、奈良、2013年7月

大鳥安正：Pfizer Glaucoma Symposium 2013、症例検討「どうする？こんな症例②」、東京、2013年8月

大鳥安正：緑内障長期管理のポイント、大阪緑内障キャラバン講演会、大阪、2013年9月

大鳥安正：緑内障長期管理のポイント、姫路緑内障キャラバン講演会、兵庫、2013年9月

大鳥安正：緑内障長期管理のポイント、兵庫県東部地区緑内障講演会、兵庫、2013年10月

大鳥安正：続発緑内障の治療、第21回飛蝗の会、大阪、2013年10月

大鳥安正：緑内障診断における OCT 所見の読み方のコツ、第5回滋賀レイクサイドセミナー、滋賀、2013年11月

大鳥安正：大阪医療センター眼科6年の歩み：女性医師の貢献と指導体制、阪大眼科紅会、大阪、2013年11月

大鳥安正：緑内障手術：選択の科学、New Generation Glaucoma Conference、大阪、2013年1月

大鳥安正：緑内障早期診断のミニマムエッセンス、アズルガ点眼発売記念講演、大阪、2013年2月

大鳥安正：緑内障長期管理のポイント、筑後緑内障実践講座、久留米、2013年3月

B-6

松田 理：アイリーア[®]の使用経験、第12回府立急性期・総合医療センター眼科 Update Conference、大阪、2013年5月

多田明日美：小眼球症に伴う続発緑内障の外科治療について、第 43 回関西緑内障セミナー、大阪、2013 年 5 月

山本拓広：網膜静脈分枝閉塞症の最近の治療戦略と当院の硝子体手術、大阪市中央区勉強会、2013 年 6 月

北村成司、林 明日美、三浦聡子、瀧端 睦、山本拓広、山田さつき、松田 理、數尾久美子、大鳥安正：大阪医療センターにおける Ex-PRESS の短期術後成績、第 398 回大阪眼科集談会、大阪、2014 年 2 月

北村成司、林 明日美、三浦聡子、瀧端 睦、山本拓広、山田さつき、松田 理、數尾久美子、大鳥安正：過去 1 年間に発症した急性緑内障発作の原因および対処法の検討、第 236 回 OCC、大阪、2014 年 3 月

B-8

大鳥安正：最近の緑内障診断・治療の考え方、眼科スタッフ教育講座、大阪、2013 年 10 月

大鳥安正：病態を踏まえた緑内障治療、第 2 回 OTC の会、大阪、2013 年 10 月

植木麻理、大鳥安正、中村誠、狩野廉、森和彦、関西緑内障道場：緑内障症例、またまた帰ってきた悩みの相談室、第 67 回日本臨床眼科学会インストラクションコース、横浜、2013 年 10 月

大鳥安正：最近の緑内障診断・治療の考え方、東成区医師会生涯教育講演会、2013 年 11 月

大鳥安正：緑内障、富山大学医学部 3 回生学生講義、富山、2014 年 1 月

大鳥安正：緑内障に対するレーザー治療、平成 25 年度学術講演会、大阪、2014 年 2 月

大鳥安正：ポイントは左右差と上下差：トプコン 3D-OCT2000 を用いて、ONH meeting、大阪、2014 年 2 月